

耳の広報を 市の業務とする考えは

関係者と相談し 検討したい



舛 甚 英文
(日本共産党)

議員 十和田地区視力障害者協議会ではボランティアから協力を得て「耳の広報」を作成し会員に提供しているが、高齢化により編集作業が厳しいと聞く。障がい者もわかる広報を届ける義務が行政にはあると思うが「耳の広報」を編集することを市の業務にできないか。

健康福祉部長

協議会では、耳の広報のほか会報も届けていると伺っています。ボランティアとして協力している十和田点訳・朗読奉仕会も含め、広報による会員募集の呼びかけについて相談したいと考えています。また

会員以外の方に対する耳の広報の提供については、現在の提供体制を継続しつつも、県内の他自治体の状況をみながら関係者との相談を初めとして、関係部署を交えて検討したいと考えています。



障がい者に優しい情報提供を

議員 当市の文化財に対する保護体制や人材の養成が出来ていないのではないかと言われている。

文化財保護のためにもどのような体制で臨んでいるのか。

教育部長

文化財の保護は、スポーツ・生涯学習課文化係三名が担当しており、そのうち一名は学芸員の資格を有しています。また、諮問機関として各分野における専門的知識を有する方々で構成する文化財保護審議会を設置し、文化財の指定、管理や活用に取り組んでいます。さらに、市内在住の県文化財パトロール員二名と情報共有しながら文化財の保護に当たっています。

議員

当市の歴史についてのまとまった論文発表がなく、調査研究面や人材の養成が他自治体におくれをとっていると言わざるを得ない状況だ。そこで、構想中の(仮称)十和田歴史館に市史編さん室を設置し、研究者が調査研究出来る環境を整えるとともに、古文書解説者を早急に養成するよう要望する。



竹島 勝昭
(市民連合クラブ)

議員

青森市の横内川を水源とした水道水が昭和五十九年に当時の厚生省の美しい水研究会が行った利き水会で「日本一おいしい水」と称された。この横内川は八甲田山水系であり、当市の水道水も同様の水であると思っ

上下水道部長

当市においても水道水源の保護の観点から、非常に重要なものと認識しています。今後は地下水を水道水源として当市と類似する自治体の条例等の制定状況把握に努め、時間を要しますが条例制定に向けた調査研究を行いたいと考えています。

議員

平成二十六年四

水道水源保護条例の制定を

制定に向け調査研究を行う

月に水循環基本法が制定された。これにより健全な水循環を支える国や地方公共団体の義務、責任が国の法律において初めて明記されたため「水道水源保護条例」等の法的根拠が強化されたと思う。当市の水環境のことを調査研究している大学教授の方々もいるため、そのような専門家からの意見も参考にしながら、幾らでも早い時期の条例制定に向けた取り組みを行うことを強く要望する。

観光商工部長

今後は、今年度の利用実態把握と他の事例の調査研究に基づき、水上バイク利用のあるべき姿や現状での問題点の整理とその対応策について、関係機関で組織している十和田湖活性化対策会議において、協議及び課題の共有を図っていきたいと考えています。

議員

雄大な自然に抱かれた神秘の湖、十和田湖に水上バイクの爆音はふさわしくない。乗り入れ規制の進捗状況や方向性は、

市長

今年度は、関係機関と連携し水上バイクの乗り入れ場所の巡回や利用状況を調査すると



モラルある利用で静ひつの湖に